

## 第2学年 国語科 年間学習計画

- 学習目標
- 1 国語を適切に表現し正確に理解する能力を身につける。
  - 2 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする。
  - 3 国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を身につける。

	単元・題材	学習内容	学習のポイント	関連する道徳の内容項目
前期	1 心を開く 「春に」 「雨の日と青い鳥」 2 真実を探る 「文化を伝えるチンパンジー」 豊かな言葉 「短歌を味わう」 3 人間のきずな 「盆土産」 「字のないはがき」 4 古典に親しむ 「枕草子」 「平家物語」 漢字語句 表現・読書 聞く 中間テスト・期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容や方法について確認する</li> <li>・好きな言葉や表現を見つけ、声に出して読む</li> <li>・情景描写に着目し、人物の気持ちを読み取る</li> <li>・事実と考察を読み分け、その関係に注意しながら読む</li> <li>・用語の意味を確認しながら、論理の展開のしかたを読み取る</li> <li>・短歌について知り、表現の美しさを味わう</li> <li>・描かれている優しさや温かさなどを読み味わう</li> <li>・それぞれの場面に描かれた人物の人柄や心情をとらえる</li> <li>・古文を声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しむ</li> <li>・漢字・語句の力を伸ばす</li> <li>・必要な情報を整理し、効果的に表現する</li> <li>・作品を読み、読書の世界を広げる</li> <li>・目的や状況に応じて、選び、聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな言葉や表現を理由とともに挙げ、その気持ちにふさわしい読み方ができる</li> <li>・語句や表現の効果的な使い方に着目し、人物の気持ちを読み取ることができる</li> <li>・図や表、写真を参考にしながら事実と考察の関係をまとめることができる</li> <li>・好きな短歌のリズムや言葉の美しさを味わいながら、短歌の特色をまとめることができる</li> <li>・登場人物の思いやきずななど、文章中の効果的な表現に着目して読むことができる</li> <li>・古語の意味や用い方に興味を示し、それらのもつ響きや語感を味わうことができる</li> <li>・言語について意味や用法を理解し、正しく使うことができる</li> <li>・登場人物の人柄や思いに心を寄せて読むことができる</li> </ul>	1－(2) 3－(2) 4－(4) 3－(2) 4－(9) 4－(6) 3－(2) 2－(2)
後期	「徒然草」 「漢詩の風景」 5 事実と意見 「モアイは語る-地球の未来」 6 生きる姿 「走れメロス」 7 広がる言葉 「小さな「物語」を探る」 「言葉の力」 漢字語句・文法 表現・読書 話す 中間テスト・学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典や漢詩の言葉遣いやリズムをとらえ、その世界を想像し心情を味わう</li> <li>・事実や根拠を確かめながら筆者の意見を読み取る</li> <li>・描写や会話に着目し、登場人物の人物像の変化を読み味わう</li> <li>・テーマや相手に応じて適切な取材の計画を立て、相手を尊重しながら情報を聞き取る</li> <li>・言葉と人間のかかわりを考える</li> <li>・漢字・語句・文法的事項の力を伸ばす</li> <li>・自分の意見を明確にしつつ、根拠を示して文章をまとめる</li> <li>・書く活動を通して自分をみつめる</li> <li>・作品を読み、読書の世界を広げる</li> <li>・資料や構成を工夫して効果的に伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典や漢詩に親しみ、描かれた情景や心情を味わうことができる</li> <li>・事実や根拠をもとに筆者の考えを読み取ることができる</li> <li>・時刻や場面の変化を追いながら、登場人物の心情、心理をまめることができる</li> <li>・事前準備を整え、相手の立場を十分に配慮してインタビューすることができる</li> <li>・言葉と人間のかかわりを文章中の語句・表現に着目して読むことができる</li> <li>・言語について意味や用法を理解し、正しく使うことができる</li> <li>・立場や根拠を明確にして、わかりやすく説得力のある文章を書くことができる</li> </ul>	3－(2) 3－(2) 3－(2) 2－(3) 3－(1)

### 評価の観点・評価方法

- ①意欲を持って自主的・継続的に学習をすることができる（宿題・ワーク・提出物・授業準備）
- ②人の考えに耳を傾け、自分のことばで意見を発表することができる（聞く態度・発表・話し方）
- ③自分の意見を明確にし、読み手に伝わる表現を工夫することができる（作文・ノート・作品・定期テスト）
- ④文章に表れた情景や心情をとらえ、表現を工夫して朗読できる（朗読・定期テスト）
- ⑤漢字・語句・文法事項を正しく認識し、文章の中で適切に使うことができる（小テスト・定期テスト）